

報道機関各位

東田で回遊性向上に向けた 「自動運転」の実証実験・試乗体験会を実施！

(公財)北九州産業学術推進機構では、大型商業施設や文化・歴史施設等が集積し、多くの来訪者で賑わう東田地区の回遊性や利便性を高めることなどを目的に、地区関係者や交通事業者等とEVモビリティの実証事業に取り組んでいます。

今年度は、将来の実装を踏まえ、下記のとおり、東田では初となる自動運転EVモビリティによる実証運行を行います。

今回の自動運転は、JAXAの技術協力のもと、3Dマップに高精度衛星測位技術を活用した位置情報を組み合わせての自動走行を目指した取り組みで、九州では初の実証となります。

つきましては、ぜひ取材・試乗体験にお越しいただきたく、ご案内申し上げます。

記

■実施時期 10月26日(土)～11月3日(日)の8日間(予定)
※10月28日(月)は関係施設休館のため運休、荒天時運休

■運行車両 4人乗りのランドカー(EV)1台
※乗客は3人まで
※時速10キロ以下

■運行時間 11:00～17:00(予定)
※約20分間隔で随時巡回運行

■自動運転レベル レベル2(運転手あり)

■運行主体 東海クラリオン(株)
※高精度衛星測位技術を活用
した自動運転システム開発



■技術協力 JAXA(宇宙航空研究開発機構)ほか
※詳細は下記URL及び右のQRコードからご覧いただけます

https://www.jaxa.jp/press/2023/08/20230808-1_j.html



■運行ルート ①いのちのたび博物館⇒②タカミヤ環境ミュージアム
⇒③スペースラボ ANNEX⇒①いのちのたび博物館

■運賃 無料

■主催 東田ミュージアムパーク実行委員会、東田モビリティ協議会

■問合せ先 (公財)北九州産業学術推進機構(担当:畑間) TEL:093-695-3685
※取材の際は、事前にご一報いただくと試乗対応も行います。

自動運転機能

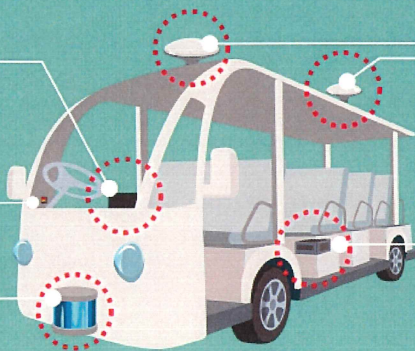
スマートシティを実現する最新技術

2人乗りのマイクロEVから8人乗りのマイクロバスなど、
手軽に自動運転へと変えられる「後のせ自動運転システム」
既存車に簡単に組み込めるように設計されています。

AIが自動生成した
地図データを表示するモニター

車両の加速度や向きなど
クルマの挙動を検知する
IMU センサー

障害物を検知するための
2D-LIDAR センサー



日本独自の測位衛星みちびきや
GPSを利用し、位置を測定する
GNSSアンテナ

取得したデータを元に
自動運転を制御するPC

令和6年度他都市での実証計画 ※令和4年度から実証開始

- ・8月 岐阜県海津市（道の駅周辺；公道走行；ナンバープレート取得済）
- ・9～10月 茨城県つくば市、11月 沖縄県読谷村 ほか

東田自動運転実証 回遊コース（全体図）

